

紀美野町道路トンネル個別施設計画 (トンネル長寿命化修繕計画)

令和 2 年 9 月策定

(令和 8 年 8 月改定)



1. 道路施設の現況と課題

1.1 トンネル概要

紀美野町では、現在 7 本のトンネルを管理しています。

管理トンネル一覧

令和 7 年 9 月 24 日現在

トンネル名	路線名	所在地	建設年月	延長 (m)	施工法
		自			
美里 トンネル	雨山 サリゾート線	自：和歌山県紀美野町津川	平成 10 年 1 月	395.0	NATM
		至：和歌山県紀美野町大角			
上ノ城 トンネル	雨山 サリゾート線	自：和歌山県紀美野町井堰	平成 19 年 1 月	1,416.0	NATM
		至：和歌山県紀美野町津川			
真国 トンネル	雨山 サリゾート線	自：和歌山県紀美野町井堰	平成 16 年 1 月	220.0	NATM
		至：和歌山県紀美野町井堰			
雨山 トンネル	紀州 サリゾートライン	自：海草郡紀美野町井堰	平成 3 年 1 月	510.0	NATM
		至：海草郡紀美野町東野			
三本松 トンネル	上神野真国線	自：海草郡紀美野町津川	平成 4 年 1 月	633.5	NATM
		至：海草郡紀美野町花野原			
大津隧道	上神野真国線	自：海草郡紀美野町大角	不明	96.7	矢板工法
		至：海草郡紀美野町津川			
箕六隧道	市場箕六線	自：海草郡紀美野町箕六	昭和 59 年 3 月	52.1	NATM
		至：海草郡紀美野町箕六			

1.2 トンネルの現状【課題・目的】

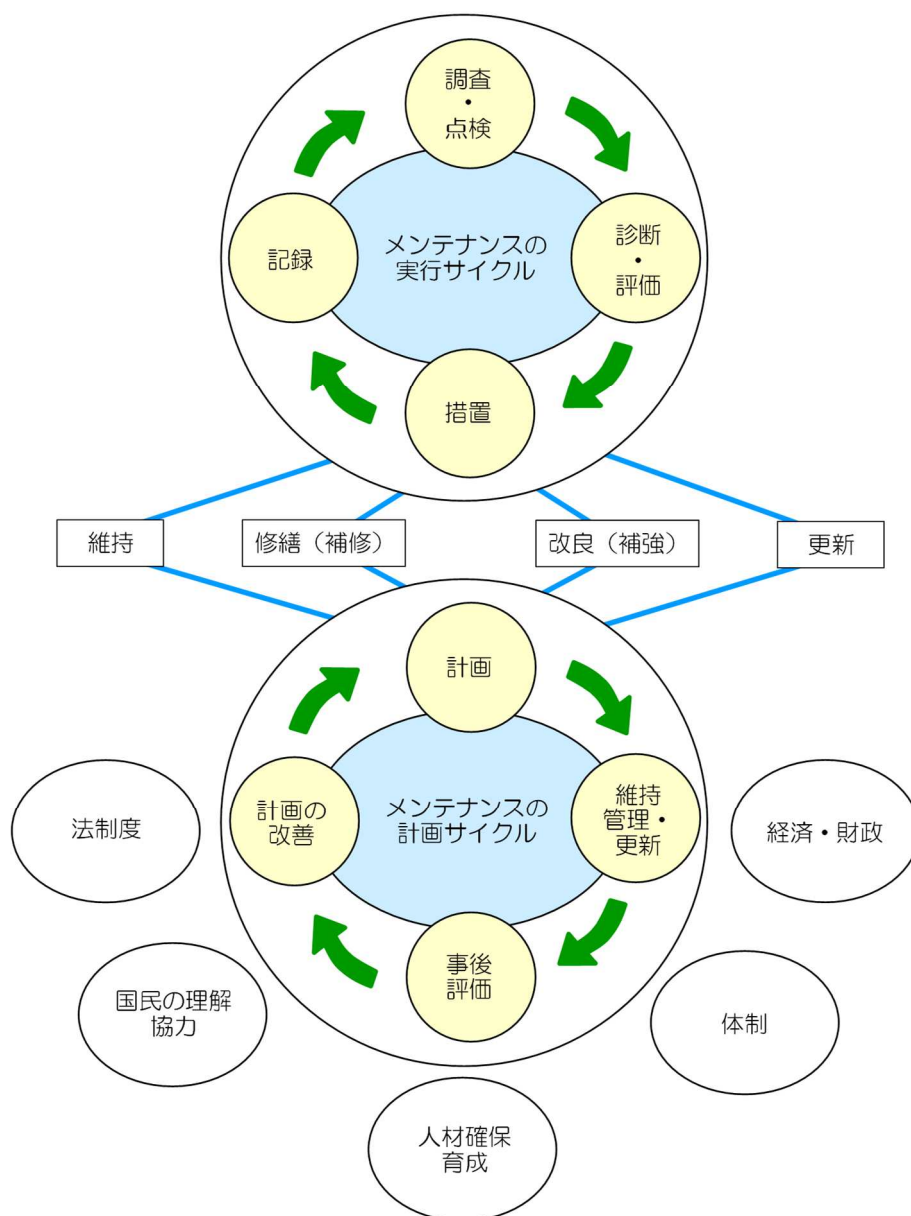
紀美野町が管理する供用中のトンネルは令和 7 年 9 月 30 日現在 7 本であり、建設後の平均経過年数は約 24 年（大津隧道は建設年次が不明な為、含まない）、30 年を超えるトンネルが 3 本あり、20 年経過すると建設後 50 年を超えるトンネルが 3 本という状況である。

また、トンネルの本体工ではコンクリートの経年劣化や附属物の固定金具の腐食が進行しつつあります。

本町では、定期点検による確実な状態の把握（早期発見）、点検結果に基づく確実な対策（早期補修）を推進すること目的としています。

2. トンネルのメンテナンスサイクルの基本的な考え方

トンネルの老朽化対策を進めるため、管理トンネル全てにおいて点検→診断→措置→記録というメンテナンスサイクルを構築します。



点検は道路「道路トンネル定期点検要領」令和6年9月（国土交通省 道路局）に基づき、5年に1回の頻度で、近接目視により実施し、トンネルの健全度を4段階で区分して構造物の状態を把握します。

その後、点検診断結果に基づき必要な措置を必要な時期に講じ、点検結果と共に記録します。
このような、メンテナンスサイクルを回すことで老朽化対策を推進していきます。

トンネル等の健全性の診断結果の分類に関する告示（H26 年国土交通省告示第 426 号）

区分		状態
I	健全	構造物の機能に支障が生じていない状態
II	予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態
III	早期措置段階	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態
IV	緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態

3. 計画期間

5年に1回の定期点検サイクルを踏まえ、点検間隔が明らかとなるよう計画期間は10年とします。（2021年～2030年が対象）

4. 新技術等の活用方針

定期点検及び修繕の実施にあたって、新技術情報提供システム（NETIS）や点検支援技術性能カタログにより新技術等の動向を把握し、従来工法と新技術等を含めた比較検討を実施する。検討の結果、新技術の活用により事業の効率化や費用縮減が図られる場合には、新技術を積極的に採用するものとする。

5. コスト縮減に関する具体的な方針

今後、管理する全トンネルの点検や、大規模修繕やその更新が必要となった場合の詳細調査や設計計画時において、新技術（NETIS 掲載情報による工法・製品）や点検支援技術性能カタログ（令和7年4月）による画像計測技術や非破壊検査技術（トンネル）などを活用し、点検や修繕工事に要するコスト縮減を図り、当該計画最終年度までに約百万円の費用低減を目標とします。

6. 集約化・撤去について

令和 12 年度までに、近くに迂回路が存在する当町管理トンネル 1 施設において、地元への調整により合意形成が得られた場合、路線の廃止を行い、約二百万円の点検費用低減を目標とします。

7. 対策の優先順位

点検結果に基づき、効率的な維持及び修繕が図られるよう必要な措置を講じます。

対策の優先順位は、トンネルの健全性の他、第 3 者への影響度や路線の重要度などを総合的に勘案して判断します。

〔対策優先順位〕

	健全度	優先順位	備考
美里トンネル	Ⅱ	5	
上ノ城トンネル	Ⅱ	1	
真国トンネル	Ⅱ	2	
雨山トンネル	Ⅱ	4	
三本松トンネル	Ⅱ	6	
大津隧道	Ⅱ	7	
箕六隧道	Ⅱ	3	

8. 個別施設計画

7.1 維持管理方針の検討（予防保全と事後保全）

紀美野町管内のトンネルは、過年度の定期点検にて健全度Ⅱ判定（Ⅱa～Ⅱb）であり、健全度Ⅲ判定に至っていないが対策工事を実施している。つまり、現状で対策が実施されていることから、Ⅲ判定に至る前に対策を実施する予防保全的な管理といえる。

したがって、今後の維持管理方針として予防保全を推奨する。

7.2 道路トンネル個別施設計画

トンネル点検計画・修繕計画

トンネル名	路線名	建設年月日	延長（m）	施工法	定期点検年度	診断結果			維持管理計画															
						対策区分	健全性	附属物	H28	H29	H30	H31/R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
上ノ城トンネル	雨山サリガート線	平成 19 年 1 月	1416.0	NATM	R3 年度	Ⅲ	Ⅲ	×	● △□	○□	□			●		△		□	●※		△			●
真国トンネル	雨山サリガート線	平成 16 年 1 月	220.0	NATM	R3 年度	Ⅱ	Ⅱ	○	● △□					●		△		□	●※		△			●
美里トンネル	雨山サリガート線	平成 10 年 1 月	395.0	NATM	R3 年度	Ⅱ	Ⅱ	○	● △□					●		△			●※		△			●
雨山トンネル	雨山サリガート線	平成 4 年 1 月	510.0	NATM	R3 年度	Ⅱ	Ⅱ	○	●					●		△			●※	□	△			●
三本松トンネル	上神野真国線	平成 3 年 1 月	633.5	NATM	R3 年度	Ⅱ	Ⅱ	×	●	△	□			●		△			●※		△			●
大津隧道	上神野真国線	不明	96.7	矢板工法	R3 年度	Ⅱ	Ⅱ	×	●					●		△			●※		△			●
箕六隧道	市場箕六線	昭和 59 年 3 月	52.1	NATM	R3 年度	Ⅲ	Ⅲ	○	●					●		△			●※		□	△		●

凡例）●定期点検、▲監視点検、○詳細調査、△対策設計、□対策工事

※ 個別施設計画を併せて実施

